

# 新製品

超高精度・超低ノイズ

# M-A370搭載

M-A352を超える



老朽化インフラ監視や建物の健全性評価に最適な無線式振動センサに、セイコーエプソン製「M-A370」を搭載。M-A352を上回る超低ノイズと高い安定性を実現しました。使いやすさはそのままに、微小な揺れも逃さず、より正確に可視化します。

## 超低ノイズ

従来のセンサでは捉えにくいごく小さな揺れまで、正確に検知します。常時監視で精度が上がり、長い周期の揺れも高い精度で計測できます。

## 高バイアス安定性

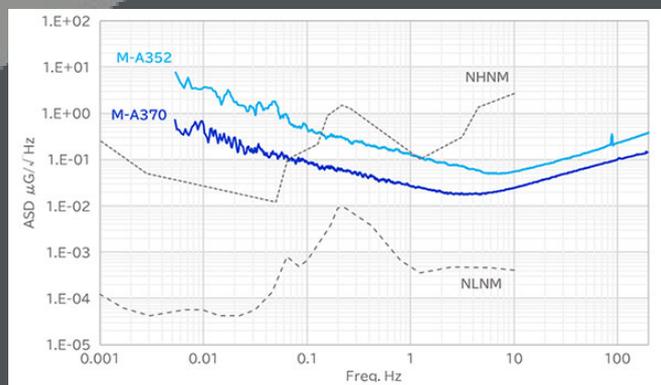
屋外や寒冷地、長期のインフラ監視など、温度変化が大きい環境でも、高精度な地震計測と健全性評価を安定して継続できます。

## 用途の拡大

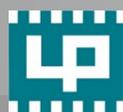
超低ノイズと高いバイアス安定性により、従来の建物や大型車両の揺れ計測に加え、地震観測や長周期の揺れも高精度で捉えられます。

## 従来機（M-A352）との違い

- ノイズ特性  
 $0.2 \mu\text{G}/\sqrt{\text{Hz}}$  (Average)  
 $\rightarrow 0.02 \mu\text{G}/\sqrt{\text{Hz}}$  (1Hz~10Hz)
- バイアス安定性  
 $\pm 2\text{mG}$  (-30~85°C)  
 $\rightarrow \pm 0.5\text{mG}$  (-30~85°C)
- 最大ダイナミックレンジ  
 $\pm 15\text{G}$   
 $\rightarrow \pm 10\text{G}$



M-A352とM-A370のノイズ特性比較



株式会社ロジカルプロダクト

〒811-1314 福岡市南区的場2丁目25-5  
 TEL:092-405-7603 FAX: 092-405-7604  
<https://www.lp-d.co.jp/>



地域未来牽引企業

